

**練馬区の将来像を考える区民懇談会**  
**区民生活分野分科会**  
**第7回 議事概要**

日時：平成20年2月4日（金）18:30～20:30

場所：練馬区役所本庁舎5階 庁議室

**出席者【50音順】**

阿部財智、市川恵子、奥村隆史、尾崎九一、川井淳子、木原勇、坂口節子、清水幸子、西塚正美、平野一枝、本山裕一、若井治子

**1. 討議**

**（1）本日の進め方・最終報告に向けた検討の進め方について**

ーコーディネーターおよび事務局（コンサルタント）から、本日の進め方について説明した。

**（2）討議：具体的事業のアイデアと将来像の実現に向けた取り組みの方向性のとりまとめについて**

**○コーディネーター**

・本日は事前に送付した事務局案をたたき台として検討していく。

**①中間報告部分について**

**○委員**

・中間報告部分（「交流」「安全・安心に係る課題」）に修正依頼を提出しているが、まだ反映されていないので反映してほしい。

**②「絆とやすらぎの町」について**

**a)「近隣コミュニティの活動基盤の強化を図ります」について**

**○委員**

- ・取り組みの方向性の項目名は、4つともこれで良いと思う。
- ・「町会・自治会への参加促進」という事業に「会費割引制度」があるが、これは無理なので削除してもらいたい。また、青年参加事業、行事などが提案されているが、これらはかつてやっていて、少子化や資金不足で止めた町会や自治会もある。
- ・町会の規模が大きく会費もたくさんあるところと、規模が小さいところは事情が全く違

うので、そこまで立ち入る必要はないのではないかと。

- ・この提案は、若い単身の大学生などが結構いて、町会に入りたい人が一世帯と同じお金を払う余裕はないという場合を想定している。若い人に参加してもらうための1つの方法として提案した。
- ・単身者、学生、若い人はアパートが多く、本人にはなかなか会えないため難しい。
- ・会費割引制度はそれぞれの町会でやっているので書かなくても良い。また、「開かれた町会・自治会運営」に「役員の交代制・定年制・任期制」とあるが、こういったことも町会・自治会に任せるべきである。
- ・どの町会も任期制だがベテランは必要。一年ぐらいで交代すると事業がストップする。
- ・「コミュニティ活動の場の整備」という事業にある「徒歩5分程度の生活圏に集会室を作る」というのは無理。町会や、学校の校区くらいの範囲で作ればよい。
- ・「コミュニティ活動の場の整備」と「交流の場の充実」を統合した方がよい。
- ・徒歩5分にこだわってはいない。立派でなくてよいので、身近な、歩いて行ける場所に必要ではないかという発想である。

#### b) 「地域活動を活発化し交流とふれあいを推進します」について

##### ○委員

- ・「楽しい公園を作ろう」という事業については、世代間交流が目的のようだが、楽しい公園を作れば世代間交流になるわけではないので削除してほしい。
- ・色々な意見を言う場なのに、簡単に意見を削除するのはいかなものか。
- ・削除するというのは、「地域活動を活発化し交流とふれあいを推進します」からの削除で、「誰もが生き生き暮らせる元気なまち」に移動するということである。
- ・「誰もが生き生き暮らせる元気なまち」の中では、「a)誰もが尊重されるまち」に位置付けるのがよい。
- ・確認だが、今まで色々とワークショップで述べてきた意見は、原則全て書き込んでいくのか、整理したものを提言として出すのか。

##### ○コーディネーター

- ・原則としてはできるだけ頂いた意見は盛り込んでいきたい。ただし、言い足りない部分や明らかに間違っているところは合意のもとに削除する。

##### ○委員

- ・公園は、環境まちづくり分科会にも関係する。そちらに委ねても良いのでは。

##### ○事務局

- ・他の分科会でも同様の検討はされているが、区民生活分科会としては世代間交流に視点を置いたアイデアとして入れればよいのでは。

##### ○委員

- ・目的が施設を作ることか世代間交流かを明確にした方が良い。世代間交流なら公園のことを言わなくても良い。
- ・練馬ではベッドタウンで働いている人は寝に帰るだけの人が多い。この人達を外に出す工夫を、と考えた。少子高齢化を見据えてオープンカフェなど高齢者が憩える施設、工夫が必要。
- ・それは法律や制度上、難しい。
- ・そのことは知っているが、だからだめというのではなく、実態に応じて変えていかなければならない。夢を言うと、カフェがあり、お母さん方が子どもを連れてきてコーヒーを飲みながら遊ばせることができる。店の人が暇な時、公園の管理もしてもらえる。高齢者の参加を上手に促せば、シルバー人材活用にもなる。一石四鳥ぐらいになる。

#### ○事務局

- ・「誰もが生き生き暮らせる元気なまち」に、高齢者を含め色々な人が使いやすいような公園を作るという位置付けでこの事業を記述することとする。

#### ○委員

- ・「公園の整備」として挙げるならよいが、「世代間交流」だと、公園にそのようなものを整備して世代間交流ができるか疑問である。

#### ○事務局

- ・「世代間交流」という位置付けにはしない。その場所で、誰でもそれぞれの立場で心地よく過ごせる場をつくる、という位置付けにする。

#### c) 「安心して暮らせるやさしいまちをめざします」について

##### ○委員

- ・「災害時の災害弱者を支援するため災害要援護者リストの作成を進める」という事業にある「災害要援護者リストの作成」については、「支援の方策を考える」を追加して欲しい。

#### ② 「誰もが生き生き暮らせる元気なまち」について

##### a) 「誰もが尊重されるまち」について

##### ○委員

- ・「男女共同参画の推進」という事業に「区はこうした施設の整備を進める」とあるが、区だけでなく民間商業施設もあるので「区並びに民間の施設管理者は」とした方が良い。

##### c) 「文化を守り、生み出すまち」について

##### ○委員

- ・「練馬区民文化祭週間」という事業について、「区民と活動団体が文化センターや各区民館で紹介や発表とワークショップ」との記述の施設名に「公民館、ふるさと文化館等」を加筆してほしい。

- ・「練馬区民文化祭週間」とは何か。新たに行事を作ろうということか。
- ・現在あちこちで開催している祭りや行事を、1つの旗印の下に一斉にやるということである。

#### d) 「身近で魅力ある商店街」について

##### ○委員

- ・「タウンマネジメント推進事業」という事業の目的に「商店街のテナントミックス」とあるが、分かりにくいので「店舗業種構成の適性化」とした方が良い。

#### e) 「活力ある地域産業」について

##### ○委員

- ・「工場誘致」という事業があるが、工業等規制法がなくなり、都内でも大学を誘致できるので、工場だけでなく大学を含めた「教育施設の誘致」をここに入れてはどうか？

##### ○事務局

- ・今の工場の事業と一体的に記述するか、大学誘致の新たな事業を書き起こすか。

##### ○委員

- ・新たに事業を書き起こすということで良いが、大学に限らず「大学等文教施設」といった位置づけで記述してほしい。

#### ③ 「緑との共生」について

##### ○委員

- ・「魅緑記念日」「起業戦隊」「農緑開発機構」などここだけ他と表現が異なるがよいのか？

##### ○コーディネーター

- ・テーマグループごとの個性なので、なるべく活かす方が面白いと思う。

#### a) 「全緑疾走（街の農と緑を守り、育む）」について

##### ○委員

- ・ヒートアイランド現象や地球温暖化を抑える目的で緑のラインをつなげるという意味で提言した。これをどこかに記述してもらいたい。

##### ○事務局

- ・緑全般に関わることなので、事業の説明ではなく、a)全緑疾走（街の農と緑を守り、育む）の目的の説明文に加筆することとする。

##### ○委員

- ・「緑の防衛作戦」という事業で、神社仏閣が入っているが、神社仏閣は普通の人は入りにくく、門が閉ざされていたりする。区民に開放、散策できるようにしてもらいたい。

## ○事務局

- ・「～の緑を区民に開かれたものとして活用できるように」という表現を加筆する。

## b) 魅<sup>みりょく</sup>緑 記念日

### ○委員

- ・「みんなの苗木市」という事業で、「神社仏閣の境内を利用して定期的に植木市を開催する」とあるが、今練馬区では大きな邸宅がなくなってきているので、植木市で売っている植木を植えるところがないので、大きな木でなく、つつじのような小さな木にすれば良い。それだけでも相当緑の面積は広がる。
- ・また、神社仏閣のスペースを利用して地域交流をすることも大きな狙いである。
- ・町会は色々な人がいるので、神社仏閣と一緒に事業をすることには抵抗があるかもしれない。
- ・だからこそ協働する機会を作ることが重要である。しかし、問題があるなら町会・自治会ではなく、地域住民との協働としてもよい。

## c) 「起業戦隊」について

### ○委員

- ・「中卒野菜」という言葉は、今で考えるとやや問題があるかもしれない。

### ○事務局

- ・農作物や水産物は産地で「〇〇産」と表現するので、「中学産」ではどうか？

### ○委員

- ・それでよい。
- ・「ニートの逆襲」という事業があるが、この言葉は誤解を受けないか。
- ・全国に呼びかけて農業をきっかけとして練馬区に来てもらい、やがて区民になってもらうことを想定している。同様に、練馬区から工場が撤退しつつあり、主婦のパートの雇用先がなくなっている。

### ○委員

- ・自由な時間を持っている人達ということで、「自由人」としてはどうか。
- ・「逆襲」という表現もやや問題がある。「自由人の新世界」としたほうが良い。
- ・事業内容に「農業従事者はニートの受入を主体的に行う」とあるが、これも気になる。

### ○事務局

- ・これは、上段に記述されている衣食住とは別の話。農業従事者が、ニートが農業を体験する場の提供を主体的に行うという意味だと考える。

## 2. その他

(1) 第8回懇談会における最終報告書の発表について

－最終発表書の発表者が以下の通り選任された。(50音順)

▶ 奥村委員

▶ 西塚委員

▶ 本山委員

(2) 発表報告会について

－区民の方に広く懇談会の報告書の内容について周知し、ご意見を伺うために開催する発表報告会について、当日配付資料にそって事務局から案を説明した。

(3) 今後の予定

－今日のご意見を踏まえて、報告書を修正し、各委員に送付する。それへの意見を修正したものを、発表者との打ち合わせで検討・確認したうえで、本分科会の報告書案とすることとした。

－発表者との打ち合わせは、2月29日(金)17時からとする。場所は、後日事務局からお知らせする。

－なお、本日提出を受けている欠席者の意見は、事務局で検討し、報告書を修正する際に適宜加筆することとした。

(以上)